



商品説明：文化財等の歴史的資源を活用した分散型ホテル

○本社所在地：京都府京都市下京区四条通
室町東入函谷鉾町101アーバンネット
四条烏丸ビル6F, 7F

○事業概要：まちづくりコンサル、宿泊業

○常時使用する従業員：432名
(2025年6月時点)

○現在の売上高：20.3億円
(2024年12月期)

○法人番号：8010001237384

○Web：https://www.vmc.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
他力野 淳

価値ある日本文化を後世に紡ぐ

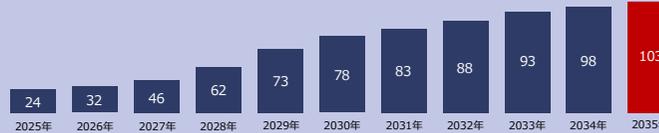
人口減少と少子高齢化、税収減に直面する日本では、全国の市町村のうち過疎地域は半数を超え、地域を代表する文化・自然等の地域資源は消失の危機にあります。

私たちは「文化は国の宝」と捉え、今まで税金で保全してきた文化財等の歴史的資源を「民間が活用しマネタイズ」することで保存・再生してきました。この取り組みをさらに全国で展開するため、売上高100億円の達成を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・売上目標：2035年に売上高100億円を達成。



課題

- ・地方部への集客動線：観光地でない地方部の施設への集客動線構築。
- ・顧客管理・施設管理システム投資：主にデジタルでのCRM（顧客関係管理）施策強化によるLTV最大化、施設オペレーションのDX化による生産性向上
- ・多拠点立上げ：11施設開業の新規採用、組織・オペレーション構築
- ・地域・行政等との連携：都市部を中心とした大型案件の獲得力強化。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・多拠点展開：都市部での旗艦店舗5施設、歴史地区での分散型ホテル6施設開業のための候補案件発掘と推進体制構築。また、美術館・博物館・文化施設・神社仏閣等のMICE利用時の専属窓口を担うことで、直営店舗以外の収益も拡大。
- ・エクスクルーシブな高付加価値文化体験強化：官民連携でのまちづくりの一環で事業推進し、非公開寺院（または非公開時間）の貸切、ユネスコ無形文化遺産の祭りの特別参加や特等席等の体験造成を強化・推進。
- ・顧客管理・施設管理システム投資：ホテル会員等のCRM施策により顧客基盤を強化。またオペレーションのDX化により生産性を向上。
- ・インバウンド強化：2030年15兆円規模への成長が見込まれる訪日旅行市場における海外への発信強化、富裕層旅行会社との連携強化、ラグジュアリーホテルコンソーシアムへの加盟を実施。

実施体制

- ・地域共創部署の強化：官民連携でのまちづくりスキームの組成や案件発掘のために、地域連携の事業を強化
- ・デジタル/ブランディングチーム強化：多拠点展開を図るためのブランディング、CRM、デジタルプラットフォーム推進強化のための部署を拡充。
- ・採用・教育部署の強化：今後の新店開業に向けて新規採用・組織オペレーション構築のため部署を強化。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです